

(永祿五年)  
四月十七日

下間大藏法橋御房

(上野民部大輔)  
信孝 在判

(永祿四年三月の條参照。)

四月廿八日。鳳至郡大野村の百姓等、岩藏寺に  
田地を寄進す。

【岩藏寺文書】 鳳至郡

一四四七

奉<sup>(寄)</sup>奇進大野田地之事

合五拾疋者 在所は木のかみ藤三郎みやのまへ則き

しんある [ ] よりて拾六俵 [ ]

おめさ [ ]

右彼田地者 後生善生のため候也。大野村と仕候而、於以

後とかく之儀申候者御座候はゞ、御ばつをかぶり可申候。

仍永代祈進狀之事、右如件。

此内百文は、御伊勢御はつおに可被參候。

永祿五年卯月廿八日 大野村百姓中

折坂彌三郎 在印

前田彌太郎 在印

其時にあり合候により彌太郎  
彌三郎はんお仕候。

岩藏十穀 參

八月廿二日。石川郡白山宮惣長吏澄勝、同宮莊  
嚴講所新入衆を舉達す。

【白山比咩神社文書】 石川郡

一四四八

白山寺 莊嚴講

新入衆事

勸學院

宮内卿公奉

右任先例令舉達處之狀如件。

永祿伍 八月廿二日

惣長吏 法印 澄勝 在判

一和尙御房

八月廿三日。羽咋郡氣多社遷宮を行ふ。

【氣多神社棟札】 羽咋郡

一四四九

(第一行)  
就社領一圓御寄進御造畢

【鵜川天神棟札】 鳳至郡  
永祿五年  
八月。鳳至郡鵜川天神社の拜殿の修理成る。

一四五〇

(第三行)  
願主畠山匠作源義綱 社務當奉行今井出羽守綱秀。  
全方奉公仁跡

寺岡九郎左衛門尉紹經・猿樂熊木太夫 葺士五郎兵

衛 鍛冶大工助三郎・六郎太郎

(第三行)  
奉被成御編旨氣多太神宮御遷宮 永祿五年 八月二十

二日御棟上 辰刻 廿三日御遷宮 亥 丑刻 廿四日御猿

樂

(第四行)  
奉遷宮神慮守 大宮司彈正大弼櫻井宿禰基勝 公

文櫻井攝津守宗秀 大鋸孫右衛門・左近

(第五行)  
奉供養曼荼羅供一座 大導師地藏院權大僧都法印

眞遍大和尚位 在廳一乘坊智祐 山士太郎次郎・與三

郎

(第六行)  
御内裏使櫻井和泉守基繼 右筆者眞

遍僧都 大工藤原春千代 小工七郎

兵衛・七郎

奉修理天神拜殿之事

八月下旬

天神主 惣産子中

【鵜川天神社文書】 鳳至郡

一四五一

奉修理天滿宮御寶殿之夏

熟以、正像已過、今雖爲末代、日月不落地之理歟。近來  
當社破壊而、貴管之靈赫、奉被侵雨露霜雪之處、氏子巨  
捨而留穢土給、然而時刻到來而、万年龜壽丸爲座主職  
之間、敗壞之風情仁爲驚愕、俄先瑞籬今將奉成修造者  
也。願此立意趣ヲ以哀愍納受、地頭并座主同衆僧、殊檀越  
万年藤左衛門尉、同介兵衛尉等、裘氏子等長久而、和光彌  
有倍增、子孫繁榮、富貴安穩、垂守護給者、尙彌令榮然  
松梅色香艶滿、上若下若酷耐、詩歌舞樂含勿類之咲給而  
已。仍如件。

永祿第五天壬戌中秋下瀨 敬白

牛腸之人數之事次第不同